

まちの出来事

ホタテ、毛ガニなど水揚げ

紋別漁協、春操業本格化



ホタテの稚貝放流が始まりました

在は小向沖で漁場造成を進めています。6月からの本操業海域である沼の上沖では、2万5千500トンの漁獲を予定しています。

贈答品に喜ばれる毛ガニの



漁も3月23日に始まりました。紋別漁協では優れた品質の毛ガニであることを保証するタツグ(札)を1匹1匹に取り付けて出荷していて、紋別のブランド化を目指しています。このほか旬の春ニシンは、紋別を含めて全道的に漁が薄く、大型のものは1kg千300円に達するなど超高値で推移。庶民にとっては残念ながら高嶺の花となっているようです。

まちの出来事

流水がはるか沖合に去り、紋別港は今、春漁の真っ最中です。今シーズンは3月14日に沖合底引船が海明けを飾り、4隻でスケソウタラなど180トンの水揚げしました。主力のホタテや毛ガニの操業も始まり、浜は活気に満ちています。紋別のホタテ漁は、ヒトデなどホタテの外敵を除去した海域に稚貝を放流し3〜4年後に漁獲するという育てる漁業を25年前から行っていて、安定した実績を誇ります。現在では小向沖で漁場造成を進め

新・紋別高校が開校

全校生徒311人で船出

紋別北高と紋別南高を統合再編した紋別高校の開校式・入学式が4月10日、同校体育館で開かれました。開校式では北海道教育委員会の橋場昇教育委員長が開校を宣言。開校宣言文を納めた額と真新しい校旗を富田敏明校長に手渡しました。

引き続き行われた入学式で富田校長は、全校生徒に対して「結果よりも過程が大切である」として「今この時を大切にしたい」との願いを伝えました。また新入生を代表して総合ビジネス科の洞口風香さんが「紋



新入生代表宣誓を行った洞口風香さん

別高等学校の生徒として恥じることはない生活を送ります」などと力強く宣誓し

道議選は新人・北原秀一郎氏が当選

1万265票を得票、現職・井上氏を破る

また。紋別南高は今年3月末で閉校し、在校生78人は新2・3年生として紋別高校に編入しました。入学式で1年生233人を迎え、合計311人の全校生徒による新たな伝統をたな伝統づくりが始まりました。なお紋別北高は現在の2年生が卒業する平成21年3月末で閉校し、市内には紋別高校のみが残ることになります。

選挙の結果は次の通りです。

道議会議員選挙

- ▽当 北原秀一郎(無所属、新) 10265票
 - ▽ 井上真澄(無所属、現) 5690票
 - ▽道知事選挙(紋別市得票分) 高橋はるみ(無所属、現) 10275票
 - ▽ 荒井聡(無所属、新) 5082・894票
 - ▽ 宮内聡(共産、新) 598・105票
- (小数点以下は按分票)



当選を決め、ダルマに目を入れる北原氏